

編集後記

平成10年度大学入試センター試験は、大学入試センター試験となってから初めて得点調整を行うこととなりましたが、あらかじめその方法等について公表していたこともあり、大きな混乱もなく終了することができました。

大学入試センターとしては、もとより得点調整を行うことのないような試験問題を作成することが大切なことと考えています。

本号では、研究ノートにおいて、今回の得点調整についての考え方について詳細に掲載いたしました。さらに、事例紹介として、いま話題となっているアドミッションズ・オフィス入試や飛び入学などについて紹介し、また、大学入試センター研究開発部の教官による諸外国における入試制度についての報告なども紹介しています。

そのほかの資料として、研究開発部の業績、国立大学入学者選抜研究連絡協議会の活動、平成10年度大学入学者選抜に関する基礎資料を掲載しています。

本号の発刊に当たり、お忙しい中、ご執筆いただきました先生方には心からお礼を申し上げます。